

<一般選抜試験>

<科目> 公共, 政治・経済(選択科目)

<出題内容・形式・配点>

大問	内 容	形式	配点	試験時間
1	道徳と法・社会規範	記述	20	60分
2	日本国憲法の三大原理等		30	
3	株式会社制度等		25	
4	国際社会における経済格差等		25	
合計			100	

<出題の基本方針>

基本的な出題形式は大問4つ。
公共分野・政治分野から各1問、経済分野から2問を出題。政治と経済は不可分の関係にあることから、複合的な出題となる場合がある。
トピックについては、国内問題に限定せず国際的問題からも出題する場合がある。

<学習のポイント>

授業を中心に教科書・資料集・用語集を用いた三位一体の学習が望まれる。複数種の教科書があることから、資料集・用語集を用いた補完学習は不可欠である。
各教材中の「資料」(憲法等法令を含む)・「図表」・「グラフ」・「年表」等については、数値等細部まで意識して理解することが重要である。
新しい時事問題(トピック)についても日頃から、教科書記載の有無にかかわらず、強い関心をもって考える姿勢が望まれる。人文社会科学を学ぶ際には、その姿勢が必須の前提といえるからである。